



ムハマド・ユヌス氏（右）と対話する神戸大生ら＝灘区六甲台町

「自分で決め 幸福求めて」

ユヌス氏 神戸大生と対話

ノーベル賞受賞

区 灘

「ESD（持続可能な開発のための教育）シンポジウム イン 神戸」の最終日が九日、灘区六甲台町の神戸大であり、学生が二〇〇六年ノーベル平和賞を受けた経済学者ムハマド・ユヌス氏と語り合った。

神戸大と賀川豊彦献身百年記念事業神戸プロジェクト実行委員会の主催。この日は、ユヌス氏や賀川の活動などを研究してきた学生約二十人がユヌス氏を囲み約二時間半にわたって対話した。

会場では、貧困層の女性らに少額融資する「グラミン銀行」の現状や融資を実施する基準などについて質問が相次ぎ、ユヌス氏は「レベルが高くて驚いた。有意義な対話だった」と評価。学生らに「自分で考え、自分がやりたいことを自分で決めてください。そして自分の幸福を求めてください」と呼び掛けた。

人間発達環境学研究所 修士課程一年の富士本望さん（三ミ）は「異なる意見は自分を高めてくれる」という言葉に奮い立った」

と話し、発達科学部四年の奥秋克海さん（三ミ）は「人とどう向き合っていくかを学んだ」と語った。集会終了後、神戸大の名誉博士号が、野上智行学長からユヌス氏に贈られた。
（河尻 悟）